# あやめ十八番

## 第十三回公演

# 「音楽劇 百夜車（ももよぐるま）」

# 企画書

# 作品主旨

日本の伝統芸能を“擬古典”という独自のスタイルで
描いてきたあやめ十八番が今回扱うのは“能”。

## 能演目『卒塔婆小町』
## ×
## あやめ十八番流 現代能楽劇

あやめ十八番はこれまで、歌舞伎・落語・人形浄瑠璃など、日本の古典芸能のエッセンスを作品に取り入れ、“擬古典”と称し、日本の文化・風習・宗教観などを主題とした作品を創作してきました。

今作では初めて、“和のオペラ”とも呼ばれる能をテーマとし、能演目『卒塔婆小町』の登場人物である小野小町と深草少将の関係を、死刑囚の女性と面会を希望する週刊誌の記者が、獄中結婚に至ろうとするストーリーに見立て、和製音楽劇を描きます。

# 作品概要

## あやめ十八番 2021年本公演

# 「肥後系 百夜車」

（劇場）東京芸術劇場　　（動員目標）１，６００人
（小屋入り期間）2021年10月26日(火)～11月2日(火)
仕込み　：10月26日(火)、
場当たり：10月27日(水)～10月28日(木)
ゲネプロ・初日：10月29日(金)
（ステージ数）８ステージ

（仮稽古スケジュール）9月1～2週目：週１回４時間程度のプレ稽古（※無くなる可能性もあります。）
9月３～5週目：４時間(18時～22時)程度のお稽古を週３回（※月曜は確定稽古日です。土日はオフです。）
10月4日(月)～7日（木）：１日８時間程度のお稽古。
10月11日(月)集中稽古開始。(１日８時間程度。時間帯調整中。)
※10月15日(土)および16日(日)がラストオフです。

（作・演出）　堀越涼（あやめ十八番/花組芝居）
（音楽監督）吉田能（あやめ十八番）
（出演者）　大森茉利子、金子侑加、堀越涼（以上、あやめ十八番）、
※以下オファー予定
浜端ヨウヘイ（オフィスオーガスタ）、中山省吾（HINOKURUMA）、岡本篤（劇団チョコレートケーキ）、
谷戸亮太、内田靖子、蓮見のりこ、高岡由季（オペラシアターこんにゃく座）
上記他メインキャスト6～8名程度、アンサンブルキャスト４～６名程度
（演奏者）
鍵盤楽器他：吉田能（あやめ十八番）、パーカッション：吉田悠（Open Real Unsemble）　ほか２名程度

（コロナウイルス対応）別途ガイドラインをご参照下さい。

# あらすじ

　磯貝京子は第一審・控訴審共に死刑判決を受けた未決拘禁者である。
６件の殺人、１５件の詐欺罪で起訴された彼女は逮捕直後から多くの注目を集めたが、
本人は一貫して容疑を否認している。

安蒜（あびる）康介の所属する週刊『明朝』もまた、多くの週刊誌と同じく磯貝に注目していた。
他社を出し抜く為、なんとしても磯貝と接点を持とうとする『明朝』だったが、
磯貝が出版社との面会の一切を拒否したため、デスクは安蒜に磯貝との文通を命じる。

記者嫌いの磯貝との文通は難しいと判断した安蒜は、
磯貝が大学時代、日本文学を専攻していた事に目をつけ、自作の和歌を送る。
磯貝もこれに呼応するように、和歌を送り返し、平安時代然とした、和歌による奇妙な交流が始まる。
当初、取材目的であったこの和歌のやり取りの中で、安蒜は磯貝の作る美しい歌に心惹かれていく。

長い時間を経て、ようやく磯貝との面会の機会を得る安蒜。
既に、畏敬の念を抱くほど磯貝に恋い焦がれていた安蒜は、彼女に獄中結婚を申し込む。
磯貝は、世阿弥の創作した“百日通いの伝説”に習い、自らを小野小町に、安蒜を深草少将に見立て、
百日続けて面会に通えば、結婚を受け入れると約束する。

来る日も、来る日も東京拘置所に通い続ける安蒜。
遂に百日を迎えたその日、磯貝の死刑が確定する。

# 本企画の特色

## 1．若い演劇人が古典に関わることへの敷居を低くしたい。

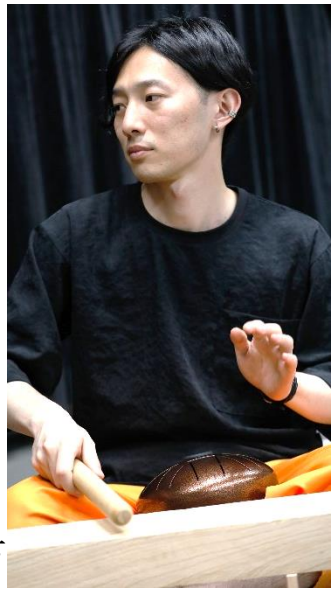
能演目「卒塔婆小町」をモチーフにすることで、古典作品への関心を促すと共に、若者や古典の初心者が受け入れやすいように創作を加え、“擬古典”として上演することで、古典に縁遠い若年の芸術家や観客が古典作品に興味を持つ足掛かりになればと考えています。

# 本企画の特色

## 2．生演奏＆全曲オリジナルの和製音楽劇

あやめ十八番の作品は、劇中音楽・効果音のすべてが生演奏であるということが特徴です。
本作はさらに、能＝和のオペラという考え方から、登場人物たちが手紙でやりとりする和歌の応酬を歌で表現するなど、あやめ十八番流の現代能楽劇で描きます。
劇中音楽全曲オリジナルで、作曲は音楽監督の吉田能（あやめ十八番）。
吉田は、Ｇ２氏・ウォーリー木下氏など、
多数の演出家の作品で作曲・演奏を務める実力派。

【吉田能（あやめ十八番）】
あやめ十八番構成員。
入団以降全ての作品で、音楽監督・作曲・演奏を務める。



（2019年の主な外部活動）
大人計画「キレイ～神様と待ち合わせした女～」
@シアターコクーン　演出：松尾スズキ
（稽古場ピアノおよび本番での演奏）

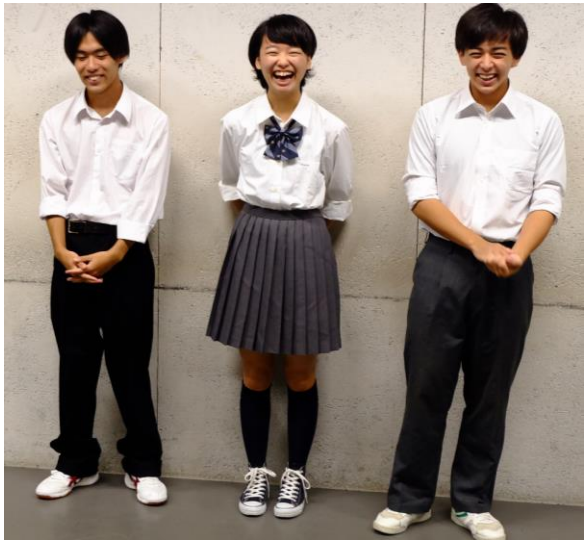
モジリ兄とヘミング「オットセイ・オデッセイ」
@テアトルBONBON　演出：G2
（作曲および楽曲提供）

シーエイティープロデュース「スケリグ」
@DDD青山クロスシアター　演出：ウォーリー木下
（作曲および演奏）

# 本企画の特色

## 3．高校生以下無料。次世代の演劇人の育成。

高校生以下は無料で本作を観劇できます。更に、高校生以下の演劇人に対して稽古場を開放し、希望があれば創作過程を見学できる制度を導入します。これによって、次世代の演劇界の担い手たちが、創作の流れ・実務・お稽古の雰囲気を学べる機会を作ります。



## 4．障がい者割引・外国人割引

より多くの方に観劇の機会を持って頂くために、
2017年からあやめ十八番では、障がい者の方や外国人の方向けに、
1,000円で観劇できる割引制度を設けており、本企画でも引き続き実施します。

# 脚本・演出家プロフィール

## 堀越涼(あやめ十八番)

| | |
|---|---|
| 2006年４月 | ネオかぶき集団・花組芝居に俳優として入座。以降、座内では女形として、柿喰う客を始めとする外部出演では男優として活動。 |
| 2012年６月 | 近親者の死をきっかけに、「八坂七月　諏訪さん九月」で、自身のユニット・あやめ十八番を旗揚げ。以降、当団体のほぼすべての作品に作・演出・出演する。 |
| 2014年３月 | 自身が作・演出・出演するあやめ十八番 第三回公演「江戸系 諏訪御寮」（小劇場楽園にて上演）が、ＣｏＲｉｃｈ舞台芸術まつり！2014で最終候補に選出される。 |
| 2014年11月 | 自身が作・演出・出演するあやめ十八番初の映像作品「江戸系 紅千鳥」が、第三回クォータースターコンテストにて、審査員の鴻上尚史氏、行定勲氏らから高い評価を受け、優秀賞を受賞。 |
| 2015年３月 | SCARLET LABEL「うさぎとシーラカンス」（脚本：葛木英、出演：伊藤ヨタロウほか@下北沢駅前劇場）で、初めて外部作品の演出を務める。 |
| 2015年11月 | 自身が作・演出・出演するあやめ十八番の映像作品「江戸系 猿踊」が、第四回クォータースターコンテストにて、審査員の野宮真貴氏、行定勲氏らから高い評価を受け、優秀賞を受賞。 |
| 2016年６月 | ENBUゼミナール「水曜日の小劇場ワークショップ」にて講師を務める。 |
| 2017年１月 | 初めて作演出したミュージカル作品「雑種 花月夜」が、王子小劇場主催の佐藤佐吉賞で作品賞等の五部門を受賞し、自身も優秀演出賞を受賞。 |
| 2017年１月 | 自身が作・演出・出演したあやめ十八番 第七回公演「ゲイシャパラソル」（2016年5～6月サンモールスタジオにて上演）で、2016年度サンモールスタジオ選定賞にて、最優秀演出賞を受賞。 |
| 2017年８月 | 吉祥寺シアター主催の吉祥寺シアター演劇部にて講師を務め、全員が現役高校生である１２人の出演者と共に、「ハルマチスミレ」（作・演出：堀越涼）を上演。 |
| 2018年８月 | 砂岡事務所プロデュース「変わり咲きジュリアン」@あうるすぽっとで、作・演出を務める。 |
| 2019年９月 | 桐朋学園芸術短期大学で、特別講師として講義を行う。 |
| 2021年 4月 | 昭和音楽大学　ミュージカルコース　講師に就任 |

# 団体概要①

## あやめ十八番とは

2012年に花組芝居の俳優・堀越涼が
旗揚げした演劇ユニット。

歌舞伎、能、浄瑠璃など、様々な日本の
古典芸能を基礎とし、古典のエッセンスを
盗み現代劇の中に昇華することと、
現代人の感覚で古典演劇を再構築する
ことの、両面から創作活動を行っている。

全ての作品で、日本人特有の感覚や美意識を作品作りのテーマとしている。
また、歌舞伎の下座音楽や落語の囃子に影響を受け、劇中音楽が全て生演奏であることも特徴の一つ。

構成員は、堀越涼(代表・作・演出・俳優)、大森茉利子(副代表・俳優)、金子侑加(俳優・制作)、吉田能(音楽監督)の4名。

# 団体概要②

## （あやめ十八番の目的）

1. 『他人の為に生きる尊さ』を団体の命題に掲げ、本当の幸せを演劇によって模索していくこと。
2. 古典芸能の作品に匹敵するような、多くの再演にも耐え得る強度を持った普遍的な作品を作り続け、最終的には十八本の十八番（おはこ）演目を持ち、レパートリーとして繰り返し上演していくこと。
3. 現代劇や日本以外を舞台にした作品に、日本の古典芸能のエッセンス（七五調の流麗な台詞回しや、下げの間、下座音楽や落語の囃子に代表される生演奏等）を取り入れた“擬古典”を創作すること。
4. 日本人特有の感覚や美意識を作品作りのテーマとし、所謂伝統的な和の舞台ではなく、“和モダンな舞台”を構築すること。
5. 歌舞伎の女形に代表される、ジェンダーを超えた配役で、“演じる”ことによる俳優や役の魅力を平常以上に引き出すこと。

# 団体概要③

## （近年の上演歴）

2016年12月　**動員約1,300人**
第七回公演「霓裳羽衣」@東京芸術劇場シアターウエスト

2017年4月　日本劇作家協会プログラム
第八回公演「ダズリング＝デビュタント」@座・高円寺１

2017年9～10月　初のツアー公演
第九回公演「三英花 煙夕空」
@平櫛田中邸（東京）、シアトリカル應典院（大阪）

2018年6月　日本劇作家協会プログラム　**動員2,250人**
第十回公演「ゲイシャパラソル」@座・高円寺１

2019年７月　吉祥寺シアター提携公演　**動員約1,700人**
第十一回公演「しだれ咲き サマーストーム」
@吉祥寺シアター

2020年11月　吉祥寺シアター提携公演　**動員率98%**
第十二回公演「江戸系 宵蛍」@吉祥寺シアター

「ゲイシャパラソル」より

「しだれ咲き サマーストーム」より

# 団体概要④

## （過去の上演歴）

2012年 6月　旗揚げ公演「八坂七月諏訪さん九月」@池袋シアターグリーン　Box in Box

2012年 7月 第一回公演「Love potion #9」@Perfoming Gallery & Cafe　絵空箱

2013年 4月 第二回公演「淡仙女」@花組芝居アトリエ セーヌ・フルリ

2013年 6月 堀越涼一人芝居「伊勢系 水巴」@恵比寿駅前バー

2013年 9月 企画公演「長井古種 かすり乙女」@シアター風姿花伝

2014年 3月　第三回公演「江戸系 諏訪御寮」@下北沢小劇場 楽園

2014年 7月　第四回公演　「肥後系 新水色獅子」@下北沢　小劇場B1

2015年 1月　大森茉利子一人芝居「肥後系 雪燈篭」@APOCシアター

2015年 4月　第五回公演「長井古種 日月」 @日暮里d-倉庫

2015年 4月　番外公演　「伊勢系 薄化粧」@月見ル君想フ

2015年 7月 番外公演「雑種 晴姿」@シアターグリーンBASE THEATER

2015年 8月　日本劇作家協会主催　「向こう横町のお稲荷さん」@座・高円寺２

2016年 5月～6月　第六回公演　「（再）江戸系諏訪御寮/（新）ゲイシャパラソル」
@新宿サンモールスタジオ

「淡仙女」より

「江戸系 諏訪御寮」より

# 団体概要⑤

## （受賞歴）

2013年　堀越涼一人芝居「伊勢系 水巴」が、エムキチビート『Fight Alone 3rd』にて観客投票第２位を獲得。

2014年　第三回公演「江戸系 諏訪御寮」が、CoRich春の芸術祭！２０１４にて最終選考に残り、同作品に出演していた現構成員の金子侑加が、俳優賞を受賞。

2014年　映像作品「江戸系 紅千鳥」が、第３回クォータースターコンテストにて、鴻上 尚史氏・行定勲氏らから評価を受け、審査員投票１位となり、優秀賞（第２位）および観劇三昧賞を受賞。

2015年　映像作品「江戸系 猿踊」が、第４回クォータースターコンテストにて、野宮真貴氏、行定勲氏らから評価を受け、優秀賞（第２位）およびイーオシバイ賞を受賞。

2017年　劇団初のミュージカル公演「雑種 花月夜」が、王子小劇場主催の佐藤佐吉賞にて、最優秀作品賞、優秀演出賞（堀越涼）、優秀主演女優賞（金子侑加）、最優秀助演女優賞（井上啓子）、優秀音響賞（田中亮大）の全５部門受賞。

2017年　第七回公演「諏訪御寮／ゲイシャパラソル」が、2016年度サンモールスタジオ選定賞にて、最優秀演出賞（堀越涼）、最優秀女優賞（金子侑加）を受賞。

最後までお読み下さり、誠にありがとうございます。
ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。

あやめ十八番
代表・堀越涼

制作：大森茉利子・金子侑加
(劇団)ayame.18.kakitubata@gmail.com
(大森個人)ayame18.ohmori@gmail.com
080-3170-3879
(金子個人)kanecoyuuka@gmail.com
090-7508-8629